

# 日本救急医療財団の活動報告

平 賢 二 事務局長

2017年8月中旬から10月上旬までの財団の活動について報告します。

## 総務部門に関する報告

仁平 正行 総務部

### 1. 「救急の日2017」について

厚生労働省・消防庁・一般社団法人日本救急医学会・一般財団法人日本救急医療財団が主催団体として本年も「救急の日2017」を9月3日（日）に昨年と同じ場所、アクアシティお台場・3階「アクアアリーナ」で開催しました。

このイベントの目的は、平成29年9月の「救急の日」及び「救急医療週間」の記念行事として実施されたもので、国民の救急、防災に対する意識を高めるために、救急・災害現場で活躍している医療関係者、救急隊員、救急救命士、ボランティア等の活動を広く国民に知らせることにより、救急医療、救急業務、小児救急、災害救助等に対する正しい理解の普及向上を目的としており、「救急蘇生法」は、誰でも参加して「いざ」というとき、誰もが応急手当を行うことができるように体験していただくことのできるコンテンツで行われました。（来場者数約2,000人）

今回、日本救急医療財団のブースにおいて「AEDの日（7月1日）」事業として、7月25日より配信を開始した『AED・QQ・MAPアプリ（iPhone版）』について、紹介いたしました。

## 研修研究部門に関する報告

穂苅 幸夫 研修研究部

### 1. 救急救命士養成所専任教員講習会について

平成29年8月14日（月）から8月18日（金）までの5日間、独立行政法人国立病院機構研修センターにおいて、救急救命士養成所専任教員講習会を実施しました。

研修内容は、①救急救命士養成施設の現状と教育体制、②救急救命士の研究と統計処理、③救急現場活動の実際と救急隊員に求められる素養、④救急救命士の活動に必要な関係法規、⑤病院前医療体制の現状と課題、⑥教育技法総論の講義と⑦病院前医療体制充実のためのMC体制の強化、⑧病院前医療体制充実のための課題、⑨高度シミュレーターを使用した特定行為プロトコルの実際、⑩教育現場でのプレゼンテーション技法についてのワークショップであり、全国から32名の受講者が参加されました。

特に、ワークショップでは、活発な意見交換と受講生相互の情報交換がなされ、大変有意義な講習会となりました。

## 2. 看護師救急医療業務実地修練について

全国から推薦された71名の看護師が、平成29年9月7日（木）から9月15日（金）までの7日間、リロの会議室田町会場において合同研修を実施し、さらに、9月25日（月）から9月29日（金）までの5日間、全国の救命救急センターを持つ19病院に分かれての施設研修を実施しました。

合同研修では、救急医療の現状、救急に必要な不整脈の知識、脳卒中、ショックの病態、院内救急対応、熱傷、ERの現状、意識障害、ACS、災害看護学概論、災害医療概論、小児医療、臓器不全・血液浄化法、グリーンケアとDMORT、救急患者への対応とトリアージ、急性中毒、ドクターヘリにおけるフライトナース、高齢者医療、精神病状を持つ患者へのアプローチ、呼吸不全、脳死と臓器移植、救急における安全管理の講義、災害医療の現状・災害トリアージ・DMAT、救急トリアージの実際（成人トリアージ、小児トリアージ、電話トリアージ）、（私の施設の）救急で困っていること、JNTECの実技のワークショップを通して、救急医療の実際、最新の情報を学ぶとともに、受講生相互の情報交換があり、連帯感が深められました。

施設研修では、実際の救急医療現場で救急処置室の見学、救命救急センター及び救急ICU等での研修、救急外来（初療室やER）における救急患者のトリアージ等の研修を実施しました。

## 3. 病院前医療体制における指導医等研修（初級者）について

平成29年10月5日（木）から10月6日（金）までの2日間、福岡市博多区の南近代ビルにおいて、病院前医療体制における指導医等研修（初級者）を実施しました。

受講対象は、3年以上の救急臨床歴があり、これからMCを始める医師、現在も救急隊員への指導・助言を行っており、オンラインでも指示をしている医師、救急救命士・救急隊員の病院実習に関して院内コーディネーター役となる医師、二次救急医療機関において救急医療を担当している医師であり、今回は9名の受講者が参加されました。

研修の内容は、我が国の救急医療体制と病院前医療体制の概要、消防機関における救急業務及び救急救命士制度に対する理解、MCの基本と運用の理解、MC関連法規に対する理解、救急救命士が実施する救命処置、オンラインMCのワークショップ、局地災害のMCに関する問題の理解、事後検証、症例検討会の方法論のワークショップ、救急救命士等に対する教育のワークショップ、MC及び指導医の今後の展開のワークショップであり、ワークショップでは活発な意見交換がなされ、大変有意義な研修会となりました。